

## 1. 講義の進め方

毎回二時限続きで、前半の 1 時間は講義、後半の 1 時間は講義をふまえて講師を含む議論や質疑応答により、復興デザインについての理解を深める。

各回のテーマや関係論文を読んで、自分の問題意識をもって講義に臨んでほしい。

## 2. スケジュール

日程

4/13	①大津山堅介	東京大学先端科学技術研究センター特任助教（復興・防災）
4/20	休講	
4/27	②大月敏雄	東京大学大学院教授（建築学専攻）
5/11	休講	
5/18	③近藤民代	神戸大学准教授（居住環境計画・住宅復興）
5/25	④廣井悠	東京大学大学院准教授（都市工学専攻）
6/1	⑤福田大輔	東京大学大学院教授（社会基盤学専攻）
6/8	⑥石原康弘	国土交通省関東地方整備局（局長） 「首都の復興を支える 8 方面作戦と減災/復旧の取り組み」
6/15	休講	※学生課題提出締め切り
6/22	学生発表	各自発表 5 分程度、全員で議論

## 3. 課題：レポート提出

復興デザインを考えるにあたって、日常と非日常の関係に着目しながら、論じてください。日常と非日常のコンフリクトによってうまくいかなかった事例や相互の呼応関係で対応できた事例を具体的に挙げながら、また、講義①～⑤の中から一つの回を主要な対象として選び、他の回とも関連づけながら論じてください。

- ・被災後の空間計画に期待される地域の自然（じねん）性は、如何に醸成されるか？
- ・縮退の時代における復興像、将来像とは何か？
- ・どうしたら「想定外」の災害に事前に備えられるのか？
- ・安全性を高めつつ、その地域に固有の暮らしを支える空間の設計とは何か？
- ・低頻度の巨大災害と、高頻度の小規模災害において、それぞれの復興デザインはどうあるか？

A4 用紙 6-10 枚程度 pdf ファイル（ファイル名は学籍番号+氏名）、6 月 15 日 18:45 までに ITC-LMS にアップロードしてください。提出物は履修者全員で共有するので、あらかじめご了承ください。

提出物は、6 月 22 日の総合討議までに全員が相互に読みあってください。

## 4. 必読／参考文献

各回では、下記の論文や書籍を読んでください。※＝論文検索サイト等からダウンロード可能です。

①

※Otsuyama, K. et al. 2019. Adaptive strategies and transformation for community recovery –A case study of Hinthada, Ayeyarwaddy Region, Myanmar. International Journal of Disaster Risk Reduction. Vol.34, pp.75-93.

※大津山 堅介, 牧 紀男, 防災政策体系における事前復興計画の位置づけに関する日米比較と課題抽出, 都市計画論文集, 2018, 53 巻, 2 号, p. 132-143

②

- ・大月敏雄 2017『住まいと町とコミュニティ』王国社
- ・大月敏雄 2017『町を住みこなす-超高齢社会の居場所づくり』岩波書店

③

- ・近藤民代 2020『米国の巨大水害と住宅復興：ハリケーン・カトリーナ後の政策と実践』日本経済評論社
- ※近藤民代・柄谷由香 2018 東日本大震災 5 年までの自主住宅移転再建者の意思決定と満足度の関連要因：岩手県および宮城県の沿岸 9 市町の新規着工戸建住宅を対象とした質問紙調査を通して、日本建築学会計画系論文集 83, 747, 917-927
- ※近藤民代・柄谷由香 2016 東日本大震災の被災市街地における新規着工建物による市街地空間形成と空間的特徴：岩手県および宮城県の沿岸 9 市町における自主住宅移転再建に着目して、日本建築学会計画系論文集 81, 721, 667-674

④

- ・廣井悠 2019：巨大災害時における人口変動の予測技術、都市計画 = City planning review 68(2), 34-37 日本都市計画学会
- ※廣井悠 2019：糸魚川市大規模火災における住民の避難行動調査、都市計画論文集 54(3), 1101-1108
- ・U HIROI, Naoya SEKIYA, Shuntarou WARAGAI, Fusae KUKIHARA, 2020：Questionnaire Survey on the Difficulty of Attending Work for Commuters in the 2018, Osaka Earthquake, Journal of Disaster Research, Vol.15, pp.212-225

⑥

おっでご連絡します。

以 上